

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施事業概要及び成果

No.	事業名	事業概要（計画時）	事業 始期	事業 終期	総事業費 (単位：円)	交付金関連 事業費 (単位：円)	臨時交付金 充当実績 (単位：円)	事業の進捗 状況・経過等	事業実施による成果
1	妹背牛商工会助成金	<p>地域経済が冷え込む状況を受け、こもりがちだった地域住民の活動を支援するとともに併せて消費意欲を喚起し、町内経済の循環を高め地域経済を守る各種事業実施に対し、妹背牛商工会へ助成を行う。</p> <p>【第1弾4～7月 町助成4,300千円、商工会負担340千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内ポイントカードのプレミアム分+飲食券(チラシ発行) 2,700円×1,040部=2,808,000円 飲食店利用可能飲食券(500円分) 500円×100枚×11店舗=550,000円 町内ポイントカードのポイント2倍還元セール 16,225円/日×37日分×2倍=1,200,650円 事業実施並びに事前予告チラシの印刷代及び新聞折込代 81,350円 <p>【第2弾11～3月 町助成2,800千円、商工会負担200千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲食券(チラシ発行)1,000円×1,040部×80%=832,000円 2か月間ポイントカードのプレミアム分(前年実績)2,053,568円 チラシ印刷及び北空知圏域新聞折込114,432円 	R2.4	R3.1	7,524,443	7,524,443	7,100,000	事業完了	—
2	新型コロナウイルス感染症対策緊急支援金	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、地域経済の危機的状況を踏まえ、著しく落ち込む地元飲食店及び旅館業への対策として、1事業者一律20万円の支援金を支給し持続可能な商店街の維持を目指す。</p> <p>対象事業者 12店×200,000円=2,400,000円</p>	R2.5	R2.5	2,400,000	2,400,000	2,400,000	事業完了	<p>対象事業者12件 助成総額2,400千円 緊急事態宣言により、休業せざるを得ない飲食店等への事業継続のための支援金により廃業を防ぐことができた。</p>
3	新型コロナウイルス感染症対応マスク購入事業	<p>感染防止対策として全町民にマスクを配布 町民1人に対して5枚ずつ配布 3,000人×5枚+5,000枚(緊急時備蓄用)=20,000枚 20,000枚×60円×1.1=1,320,000円</p>	R2.4	R2.5	1,320,000	1,320,000	1,320,000	事業完了	<p>マスク購入数 20,000枚 マスクの品切りにより価格が高騰していたことから、全町民に5枚ずつであるが配付することができた。</p>
4	妹背牛町子育て応援臨時給付金	<p>長期休業による住宅等での育児及び見守りを余儀なくされた世帯の経済的影響を緩和することを目的に0歳児から高校3年生までの子ども1人に対して一律3万円を支給。</p> <p>迅速な給付を図るため、申請手続きは省略し、世帯主の口座へ6月18日(予定)の支給を目指す。</p> <p>対象者 286人×30,000円=8,580,000円 ※平成14年4月2日以降に生まれた住民登録のある住民等</p>	R2.6	R2.6	8,580,000	8,580,000	8,580,000	事業完了	<p>対象者286人 給付金総額8,580千円</p>
5	妹背牛町小規模事業者等応援緊急支援金	<p>休業要請や外出自粛、さらには接客を伴う業種ではイメージ悪化など、町内事業者等は経営に大きく影響を受けて事業継続が難しい状況となる業種も出てきている。そこで、感染防止策に必要な整備費及び収束後の広告宣伝費、さらには今後も事業継続していくための支援金として、下記分類業種ごとに一律の支援金を支給する。</p> <p>分類Ⅰ 間接的に休業要請等や外出自粛が影響の業種 (酒類納入業、タクシー業) 4件×300,000円=1,200,000円 分類Ⅱ 外出自粛が影響の業種 (小売販売業、理美容院、治療院等) 36件×200,000円=7,200,000円 分類Ⅲ 新型コロナウイルス感染症対策緊急支援金の対象業種 (飲食業、旅館業) 12件×100,000円=1,200,000円 ※No.2事業と関連 分類Ⅲについては、緊急性を伴うことから事業の継続を目的に20万円を事前に支給。よって分類ⅠとⅢについては、休業要請・時間短縮営業、外出自粛が直接・間接的に影響している業種に一律30万円。それ以外の外出自粛が影響している業種に一律20万円支給。</p>	R2.6	R2.6	9,600,000	9,600,000	9,600,000	事業完了	<p>対象事業者52件 助成総額9,600千円 消毒液やマスク、アクリル板など価格が高騰する中、町内事業者への支援金支給により、各事業者で対策を講じることができた。</p>

6	妹背牛町活性化促進商品券	学校などの休校や外出自粛などを強いられている町民の不安な気持ちを少しでも払拭するとともに、さらに長期化する緊急事態宣言の影響を受けている町内商店等を少しでも元気にするため、全町民を対象に5千円分の商品券を配布することにより、町内での消費拡大を目指すもの。 2,900人×5,000円=14,500,000円 商品券印刷費 14,500枚×13円×1.1=207,350円	R2.6	R3.2	14,363,350	14,363,350	14,363,350	事業完了	商品券発行総額 14,215千円 消費喚起効果額 14,156千円 外出自粛による町内経済の冷え込みを全町民に対して商品券の配付することにより、14,000千円程度の経済効果をもたらせた。
7	妹背牛町医療機関感染防止対策支援金	外来患者を受け入れる町内医療機関である診療所及び歯科医院に対して、医療従事者及び施設内の感染防止策を講じる費用として支援金の支給を行う。 対象事業者 3件×500,000円=1,500,000円	R2.6	R2.6	1,500,000	1,500,000	1,500,000	事業完了	対象事業者3件 助成総額 1,500千円
8	小中学校タブレット端末整備事業	コロナウイルス感染症の影響により、臨時休校などが今後も予想される中、児童・生徒及び教員すべてにタブレット端末を導入し、登校せずにオンライン授業ができる環境整備を行うことにより、授業の遅れを防ぐ。 GIGAスクール構想関連事業等での未整備分タブレット端末として、小中学校分23台及びソフト購入費等。 23台×44,990円=1,034,770円 ソフト購入費等費用 133台×5,500円=731,500円（ライセンス5年分） ipad設定（ソフトインストール） 133台×3,300円=438,900円 電源保管庫 3台×274,340円=823,020円 総事業費 3,028,190円(落札額)	R2.6	R2.11	3,028,190	3,028,190	3,028,190	事業完了	未整備分タブレット端末等 23台 ソフト購入 133台分 電源保管庫 3台
9	感染防止対策必需物品供給事業	感染防止対策として全町民にマスクを配布し、「新しい生活様式」の定着を図る。また、公共施設等へ感染防止対策に必要な物品の供給を行う。 全町民へマスク配布事業 大人用1,175円×2,920箱×1.1=3,774,100円（落札額） 子供用1,175円×80箱×1.1=103,400円（落札額） 次亜塩素酸水生成パウダー等配付事業 パウダー19,872円×7施設=139,095円(値引き△9円) コック付きウォッシュャブルタンク 1,097円×7施設=7,679円 非接触式体温計 9,020円×10施設=90,200円 サーモグラフィ426,800円×4施設=1,707,200円（落札額）	R2.6	R2.8	5,821,674	5,821,674	5,821,674	事業完了	支援施設数 10施設 マスク購入数 150,000枚 マスクや消毒液、サーモグラフィなど価格が高騰する中、全町民にマスク50枚ずつ配付や、各施設への消毒液、サーモグラフィ等の配置ができ、コロナ対策を講じることができた。
10	妹背牛町スーパープレミアム商品券補助事業	感染予防と社会経済を両立させる「北海道スタイル」の普及と地域における消費を喚起・下支えすることを目的にプレミアム商品券(5,000円で10,000円分の商品券)の販売に対し、商工会へ必要経費を助成。 ③ 商品券4,000セット×5,000円（プレミアム分）=20,000,000円 商品券印刷代40,000枚×12円×1.1=528,000円 宣伝費（町内外チラシ、ポスター等） 61,111円 事務費（商品券封筒等） 20,735円 廃棄処理用シュレッダー 94,600円	R2.8	R3.2	20,548,946	20,548,946	18,564,496	事業完了	商品券発行総額 40,000千円 消費喚起効果額 39,044千円 外出自粛による町内経済の冷え込みをプレミアム商品券の販売により、39,000千円程度の経済効果をもたらせた。

11	妹背牛町中小企業事業者感染防止対策等支援金	<p>「新しい生活様式」、「北海道スタイル」の実践や定着が求められている中、町内事業者は特に感染者が出た場合には休業・廃業へと直接影響することから、事務所や店舗等で最善の注意が必要である。今後もさらに長期間続く対策であるため、従業員等の感染防止対策経費として支援。あわせ事業継続や雇用の維持、新たなビジネス展開に取り組む経費としても活用可能。支援金については従業員数に応じた金額を支給する。</p> <p>20人以下 20万円×90件=18,000,000円 21～50人 50万円×4件=2,000,000円 51～100人 100万円×1件=1,000,000円 101人以上 200万円×2件=4,000,000円</p>	R2.8	R2.9	25,000,000	25,000,000	25,000,000	事業完了	<p>対象事業者 97件 助成総額 25,000千円 町内中小企業全てにおいて、従業員及び事務所等の消耗品及び備品を購入し、コロナ対策を講じることができた。</p>
12	学校給食費全額免除	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休校となった児童生徒が急遽自宅での生活を送ることになり、保護者もあわせて仕事を休むなど、収入減及び固定費増などの負担が長期間続いていた状況であり、現在も終息が見えていないことから、今年度の学校給食費負担分を免除する。</p> <p>小中学校の給食費の無償化に係る費用 小学校 児童100人分 中学校 生徒64人分</p>	R2.4	R3.3	7,948,619	7,948,619	7,306,467	事業完了	<p>小中学校児童生徒164人分 給食費 7,949千円</p>
13	保育所副食費全額免除	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛期間が長引くとともに、その間登園を控えるなど園児が自宅での生活を送ることに伴い、保護者もあわせて仕事を休むなど、収入減及び固定費増などの負担が長期間続いていた状況であり、現在も終息が見えていないことから、3歳以上児が負担している今年度の副食費負担分を免除する。</p> <p>保育所副食費の無償化に係る費用 3歳以上児 35人分</p>	R2.4	R3.3	1,197,000	1,197,000	1,197,000	事業完了	<p>3歳以上児35人分 副食費 1,197千円</p>
14	避難所等発電機導入事業	<p>新型コロナが蔓延する中、災害時には避難所以外の施設の活用を含めた分散避難が必須とされるが、小中学校をはじめ9カ所の指定避難所以外にも代替可能な民間施設等を避難所として活用せざるを得ない。そのため、民間施設には発電機が整備されておらず、北海道での冬期間などでは暖房が必要不可欠であることから、多くの避難所を活用して3密の解消に努め、災害時における感染拡大を防ぐべく発電機を導入するものである。</p> <p>発電機 50KVH 3台 電灯盤 単相100V 3台 計13,354,000円(落札額)</p>	R2.9	R3.3	13,354,000	13,354,000	13,354,000	事業完了	<p>発電機 50KVH 3台 電灯盤 単相100V 3台</p>
15	RTK-GPS普及リース事業助成金	<p>妹背牛町GNSS研究会が実施する農業用自動操舵機器のリース事業に対して、機器購入費の55%を助成することにより、スマート農業を推進し、省力化を図るとともに、農作業中の密を避け、感染防止対策を行う。</p> <p>※機器購入費の15%分を年間リース代として3年間支払い、その後無償譲渡となるため、55%分の助成となる。</p> <p>32件×2,275千円(応募者平均)×85%=61,880,000円 うち臨時交付金対象となるのは55%分 40,040,000円</p>	R2.9	R3.3	40,038,900	40,038,900	32,867,179	事業完了	<p>リース事業 32件</p>
16	学校教室冷房設備整備事業	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、小中学校が長期間にわたり休校となったため、夏季休暇を短縮しての登校となる。そのため、夏の暑い日での授業が予想されることから、室温が上がりやすいパソコン教室と児童生徒の救急処置などを目的に設置されている保健室についても環境改善が必要であることから、換気付き冷房設備の整備を行う。</p> <p>小学校2室(パソコン教室、保健室) 4,510,000円(落札額) 中学校2室(パソコン教室、保健室) 6,248,000円(落札額)</p>	R2.8	R2.12	10,758,000	10,758,000	10,758,000	事業完了	<p>小学校 2室 中学校 2室</p>

17	子育て世代交流施設整備事業	<p>長期間に及ぶ外出自粛により自宅での育児に親も子どももストレス・疲労がたまっている状況であり、感染症拡大に伴い子育て中の親同士の支え合いの重要性がより一層高まっている。そこで町内に点在する空き家を地域資源として活用し、子育て世帯がいつでも利用でき、親子同士のつながりを広げることができる新しいコミュニティー施設を整備する。空き家の改修には、子育て世代の意見・要望を取り入れるとともに、感染予防対策を含めた改修を行なう。</p> <p>空き家取得費 186,536円 ※用地取得費が発生した場合はその分臨時交付金から除外 改修費 25,000,000円</p>	R2.11	R3.11	25,184,036	20,184,036	13,769,536	事業完了	—
18	観光施設及び移住施策PR事業	<p>長期間にわたる外出自粛などに伴い、観光施設の入込客数が激減している状況であるため、観光客を呼び込むため、フリーペーパーや雑誌などを活用し、感染防止対策も含めPRを行う。また、テレワークなどの普及により地方での暮らしでも仕事が可能であることから、現在取り組んでいる移住・子育て施策などもあわせてPRすることにより、移住者増へとつながる取組を行う。</p> <p>フリーペーパー及び雑誌掲載PR 1,182,000円 移住施策等パンフレット印刷 555,000円 パンフレット新聞折込料 88,000円</p>	R2.4	R3.3	1,557,716	1,557,716	1,557,716	事業完了	—
19	観光宿泊施設整備事業	<p>唯一の観光宿泊施設であるコテージは2棟のみであり、原則定員8名のところ、感染防止対策として定員数を減らすとともに宿泊者数の減少となる。本町はカーリング専用施設の利用者など冬期間にも需要が見込まれることから、コンテナハウス等の簡易宿泊施設を整備し対応する。</p> <p>コンテナハウス等設置費用(キッチン、バス、トイレ、エアコン含む) 11,525千円×2棟×1.1=25,355千円 施設内備品等(冷蔵庫、洗濯機、椅子、炊飯器、電子レンジ、調理器具・食器、布団一式、カーテンなど) 2棟×576千円=1,152千円 内線電話工事費(2棟分) 305千円</p>	R2.10	R3.3	26,770,963	20,770,963	26,752,003	事業完了	宿泊施設 2棟
20	妹背牛町キャッシュレス決済導入等支援金	<p>顧客との接触を伴わないキャッシュレス決済を導入し、感染リスクを抑え、かつ多様な支払い手段に対応することにより、地域経済の活性化を図る取り組みを行う事業者に対して支援金を支給する。</p> <p>I 決済端末等の導入費に対して1事業者一律 20千円 II 店舗等への回線改修費用に対して1事業者一律 10千円 III 決済にかかる手数料に対して1事業者一律 10千円</p> <p>I 20千円×0件=0千円 II 10千円×0件=0千円 III 10千円×17件=170千円</p>	R2.11	R2.12	170,000	170,000	170,000	事業完了	<p>事業対象者 17件 助成総額 170千円 決済手数料が障害となり積極的に導入していなかった事業者も、少しずつではあるがキャッシュレス決済へ切替が進んだ。</p>
21	学校保健特別対策事業費補助金	<p>学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童及び生徒の学習保障をするための新たな試みを実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援する経費を補助する。</p> <p>小学校及び中学校の感染防止対策等経費に補助</p> <p>小学校 Webカメラ 13千円×14台=182千円 網戸取付設置 200千円 冷風機 132千円×6台=792千円 水道蛇口レバー式 4千円×65箇所=260千円 その他消耗品等 566千円</p> <p>中学校 網戸取付設置 167千円 冷風機 110千円×3台=330千円 水道蛇口センサー 49.5千円×14台=693千円 その他消耗品等 810千円</p>	R2.4	R3.3	4,097,717	4,097,717	2,034,389	事業完了	<p>集団生活を行う学校において、様々なコロナ対策を講じることができた。</p>

22	子ども・子育て支援交付金	<p>新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等により、春休み終了日の翌日以降、平日において午前中から学童保育を開所するための人件費を確保し、対応する。</p> <p>4～5月の26日分人件費 職員費（1名） 159千円 会計年度任用職員報酬及び通勤費（4名） 171千円</p>	R2.4	R2.6	233,000	233,000	79,000	事業完了	—
23	無線システム普及支援事業費補助金	<p>光ファイバを利用した高速ブロードバンドネットワークを重要な社会基盤と捉え、光ファイバを整備することにより同一町内における情報格差を解消し、子どもたちの教育環境の充実を図るとともに、コロナ時代に対応する「新しい生活様式」の実践に必要な情報通信基盤づくりを推進するため、町内未整備地域に光ファイバを整備し、町内全域に高速ブロードバンドサービスを提供できる環境を構築する。</p> <p>送受信機設置 2,462千円 伝送用専用線設置 228,828千円 施行・構築費 495千円 撤去費 6,030千円 諸経費 1,620千円 設計・維持管理費等 66,807千円</p>	R2.9	R4.3	285,685,000	216,579,000	34,402,000	事業完了	全町高速ブロードバンドサービス整備
24	高度無線環境整備推進事業	<p>光ファイバを利用した高速ブロードバンドネットワークを重要な社会基盤と捉え、光ファイバを整備することにより同一町内における情報格差を解消し、子供たちの教育環境の充実を図るとともに、コロナ時代に対応する「新しい生活様式」の実践に必要な情報通信基盤づくりを推進するため、町内未整備地域に光ファイバを整備し、町内全域に高速ブロードバンドサービスを提供できる環境を構築する。</p> <p>No.24事業の補助対象外経費分 設計・維持管理費等 66,807千円</p>	R2.9	R4.3	69,106,000	69,106,000	29,447,000	事業完了	全町高速ブロードバンドサービス整備
計					585,787,554	505,681,554	270,972,000		